

当写真展は、環境省屋久島自然保護官事務所の職員が撮影した写真に加え、みなさまから頂いた写真を、月ごとに展示していくものです。おおむね暦の前後一か月の屋久島の様子をお楽しみください。

また、季節感が溢れる、これぞという写真をご提供していただける方は、受付までご連絡ください。（注：応募多数の場合は選考がありますので、必ずしも展示とはなりません。詳しくは受付まで。）

※①撮影日、②撮影場所、③撮影者、④コメント



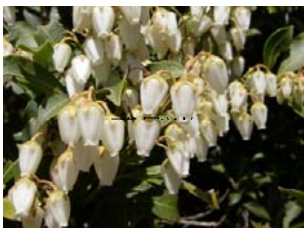
「新緑の絨毯」

- ① 2007年4月17日
- ② 宮之浦岳
- ③ 奥田青州（屋久島自然保護官事務所 自然保護官）
- ④ 宮之浦岳にたどりつき、先を眺めると、そこには永田岳まで敷き詰められた緑の絨毯があった。途中点在する岩をよくよく見てみるといろいろな「顔」に見えてくる。まるでコダマ達が遊んでいるみたい。そんな不思議な空間が広がっていた。



「翁岳との対面」

- ① 2007年4月17日
- ② 栗生岳付近
- ③ 奥田青州（屋久島自然保護官事務所 自然保護官）
- ④ 転勤で屋久島にやって来てまだ11日目の日。この三日前に宮之浦岳に登った時は霧に包まれ何も見えなかった翁岳と初対面する。今でこそ見慣れてしまったけれど、不思議な形の山があるもんだ、と感心したことは今でもよく覚えている。



「鈴なりアセビ」

- ① 2007年4月17日
- ② 投石湿原
- ③ 奥田青州（屋久島自然保護官事務所 自然保護官）
- ④ アセビの花の最盛期。鈴なりの花はかわいく、そして清純だ。だけど馬酔木という漢字を持つこの植物には、有毒物質アルカロイドを含む。きっと中毒になった馬は、見た目おいしそうだと思って食べたんだろうなあ、と想像してみる。



「朝日に染まる縄文杉」

- ① 2008年3月8日
- ② 大株歩道
- ③ 大沢成二（写真家 <http://f32.jp>）
- ④ 三月上旬、縄文杉の立つ標高1300m付近には雪が残る。この日の屋久島は東シナ海を移動してきた高気圧にスッポリ覆われ朝から好天。樹間をすり抜けて来た強い光が縄文杉を鮮やかに彩った。足下に残った雪は、この後一気に溶けてしまうだろう。



「紀元杉を見上げる」

- ① 2008年3月20日
- ② 紀元杉
- ③ 奥田青州（屋久島自然保護官事務所 自然保護官）
- ④ 紀元杉を下から見上げると、まるで自分自身の葉のように着生植物の葉が広がり、大変若々しく見える。今たくさんの植物の大地となっている紀元杉には、これまでいったい幾本の植物が着生し、そして枯れ朽ちていったのだろうか？



「スマレちゃん。」

- ① 2006年5月2日
- ② 小杉谷周辺
- ③ 永岡知子（屋久島自然保護官事務所 アクティブ・レンジャー）
- ④ トロッコ軌道脇に、ちょこんと顔を出していました。真っ白な花びらに紫色の縞模様、葉っぱはハート型をしていてとっても可愛いヤクシマミヤマスマレです。



「恋焦可憐追恋(コイコガレンオウレン)」

- ① 2008年3月20日
- ② 荒川森林軌道
- ③ 西川高司（屋久島観光協会 ☎0997-49-4010 <http://www1.ocn.ne.jp/~yakukan/>）
- ④ 影にひっそりと咲く、小さくて白くて可憐で美しい一輪の花。そう、あなた。ではなく「オオゴカヨウオウレン」です。



### 「小杉谷に桜咲く」

- ① 2007年4月
- ② 太鼓岩
- ③ 内室二郎 (アマチュア写真家 moritocoffee@yahoo.co.jp)
- ④ 今はひっそりと静まり返った小杉谷に、山桜が咲き賑わう。



### 「もののけ姫の森に佇むヤクシカ」

- ① 2008年3月15日
- ② 白谷雲水峡
- ③ 大沢成二 (写真家 <http://f32.jp>)
- ④ 「もののけ姫の森」は、白谷雲水峡を入り口から一時間ほど登ったところにある。宮崎駿監督が、映画のイメージをつくるため何度も通った場所らしい。その森の中心に、一頭のヤクシカが佇んでいた。それはまるで映画のワンシーンのようだった。



### 「春来る」

- ① 2007年3月27日
- ② 白谷
- ③ 山崎貴之 (屋久島自然保護官事務所 自然保護官)
- ④ 出会いと別れの春来る。  
うみ・さと・やまに春来る。  
春色・桃色・萌葱色。ぽかぽか陽気な春うらら。



### 「まんかいつつじ」

- ① 2006年5月2日
- ② 小杉谷周辺
- ③ 永岡知子 (屋久島自然保護官事務所 アクティブ・レンジャー)
- ④ サクラつつじが屋久島をピンク色に染める季節…何だかワクワクする季節です。



### 「新緑を包む飛沫」

- ① 2007年4月
- ② 千尋の滝展望台
- ③ 鎌田麻衣 (屋久島自然保護官事務所 事務補佐員)
- ④ 飛沫を上げ轟々と大地を震わす千尋滝。その迫力ある雄姿は同時に、柔らかな新緑に豊かな潤いを与える大自然の母の姿にも見えます。厳しさと優しさの両方を感じられる、春雨の千尋滝です。



### 「春色」

- ① 2008年3月18日
- ② 千尋の滝展望台
- ③ 西川高司 (屋久島観光協会 ☎0997-49-4010 <http://www1.ocn.ne.jp/~yakukan/>)
- ④ 千尋の滝に行くと丁度桜が咲いていたので、春らしい写真をとりたい撮影しました。



### 「一輪咲き」

- ① 2007年4月27日
- ② 荒川トロッコ軌道
- ③ 藤井 武 (屋久島自然保護官事務所 アクティブ・レンジャー)
- ④ 岩肌にひっそりと根付いた一輪のヤクシマヒメバラライチゴ。ちょっと季節が早かったけど、頑張って咲いていました。



### 「ゲンゲ畑でひと休み」

- ① 2008年3月1日
- ② 平内
- ③ 藤江昌代 (自然感察ガイド)
- ④ 人間はひと休みのつもりでも……。いました、いました。周りをよく見てみると、ミツバチたちが蜜を求めて飛び回っています。そんな中で撮った一枚です。お邪魔しました。